

ダム 源流の恵みを いつまでも



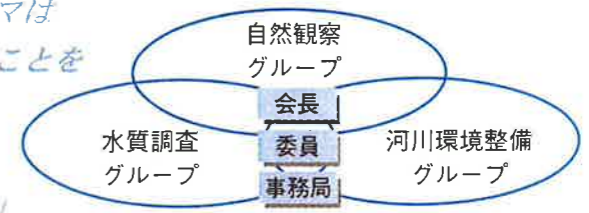
白川ダムビジョン推進会議は、白川ダムを中心とした水源地域と白川流域の活性化を目指し、平成十七年に設立され、平成十八年度より活動を始めました。同会は、これまで水源地域のことを「知る」、「広げる」、「つなげる」を合言葉に、白川ダム管理支所の支援や源流の森などと連携・協力し、自然観察会や水生生物調査、白川の環境美化活動などの事業に取り組んできました。当会の事業には、町内だけでなくその先の流域や周辺地域からも参加者が集まるようになり、最上川の源流として、その自然の魅力が広く知られるようになりました。

これまでの白川ダムビジョン推進会議の活動についてお知らせします。

白川ダムビジョン推進会議

白川ダムビジョン推進会議 組織構成

活動のテーマは
水源地域のことを
「知る」
「広げる」
「つなげる」



上記の各グループごとに企画を立て実践し、またその広報などを通して、水源地域の魅力を伝え、環境保全の大切さを啓発しています。



▲白川ダムビジョン推進会議主催の白川湖畔自然観察会。参加者は自然資源の豊かさに気づかされる。

白川の美しさをいつまでも残すため… 活動の報告

引き続き子どもたちとともに

小学生の環境学習の一環として白川ダム上下流の三地点で水質調査を実施しています。子どもたちに「白川ともっとふれあってほしい」、「もっと白川のことを知ってほしい」との願いを込め、検査試薬による水質調査と水生生物の生息状況の調査を行っています。子どもたちはこの水質調査を通し、ヒラタカゲロウ、ヘビトンボなどたくさん水生生物と接し、環境や水質保全に対する興味と関心を持ちます。そして、自然の中で遊ぶことの楽しさと自然の大切さを学び、各小学校校間の「つながり」を深めることができています。



▲子どもたちは、白川が多くの命を育んでいることを学びます



▲高峰地区の人たちと一緒に白川の環境美化を進めています

地域の人たちとともに

町内を流れる美しい白川の景観が、河川敷に生い茂る木々や雑草によって遮られているところが多々あります。そこで、河川支障木などの伐採により、太陽の日差しが水面に反射してキラキラと光る白川の美しい風景を取り戻し、川と親しみやすい川に触れ合える、広がりのある開放的な空間づくりを行っています。今年、高峰地区の皆さんと協力して、白川と嬉ヶ沢川の合流地点で支障木伐採を行いました。こうした個々の活動が「つながり」、いずれは白川の流れるように豊かな活動へ発展することを望んでいます。

白川の水源の魅力について… 石山泰子白川ダムビジョン推進会議会長に聞く

このたびの林野庁長官賞の受賞については、私たちの活動を高く評価していただきうれしく思います。受賞の理由を自分たちなりに考えてみますと、私たちの活動は一過性のイベントに限らず、水源と流域の魅力



石山泰子さん
長井市在住。元手ノ子小学校校長。組織設立時から会長をつとめる。飯豊町のファン。

白川水源である飯豊町は、幸せな環境だと思えます。を発見し、それを多くの人たちに知ってもらい、地元の人たちと一体となって活動の輪を広げてきたことが良かったのかなと思っています。白川は、飯豊山の麓の豊富な自然と美しい景観はもちろん、小国町につながる越後街道や会津につながる道など歴史的・文化的にも魅力があります。飯豊町の皆さんは、幸せな環境があることを再認識していただき、そして白川の川辺で芋煮会を楽しむなど交流の場として積極的に利用してみたいかがでしょうか。今後は、当会の活動を地域の経済活性化につなげられるよう計画し、実行していきたいと思えます。

花・人・みどりの水源地域活性化大賞 最優秀賞(林野庁長官賞)受賞

地域の魅力発信と環境保全の啓発により

白川ダムビジョン推進会議は、「森と湖に親しむ旬間」全国行事実行委員会主催の第6回「花・人・みどりの水源地域活性化大賞」において最優秀賞(林野庁長官賞)を受賞しました。住民が主体となり、白川ダムや白川流域の自然環境の魅力を発信するとともに、支障木伐採などの環境美化活動を継続的に実行してきたことが評価されたものです。

7月26日、福井県大野市で開催の「森と湖に親しむつどい2008」で表彰式が行われ、石山会長が表彰を受けました。



▲特設会場で表彰を受ける石山会長